



上／長年、川内田地区で生活用品を提供してきた旧三井商店
右／家庭菜園に汗を流す「みついのおっちゃん」こと三井善行さんと妻のてい子さん



に野菜や果物の世話にせわしなく体を動かします。「お父さんは一日中、こうして忙しくしててね。ま、それが健康につながってるとかもね」と妻のていさんは見守っています。

三井さん夫婦と旧三井商店前で雑談を楽しんでいると、一台の軽トラが止まりました。善行さんが車に向かって「どがんだった？」と声をかけ



川内田天神。木陰が涼を呼び込みます



ヤマメ釣りが趣味だという川野さん。いい笑顔です

ると、「だめだったあ」と笑って車窓から顔を見せたのは、川野初男さんです。どうやら話の真相は、ヤマメ釣りの成果のようです。

3月に解禁されたヤマメ釣り。川野さんは赤井川の上流はもとより、球磨郡の水土村や宮崎県まで足を延ばして釣りを楽しむそうです。「釣ったヤマメは冷凍してバーベキューや、どんどこで振る舞うたいね」と川野さん。

川野さんの家の近くに「おてじんさん」と呼ばれる川内田天神があり

憧れの家庭菜園場

ます。掃き清められた境内にチラチラと赤井川の瀬音が響きます。「川内田には観音堂や天満宮、天神が点在しとって、昔からそれぞれの地区で大切に守りあがめているとよ」と川野さんが教えてくれました。

赤井川に架かる川内田橋を渡ると、石垣の上の畑に広がるビニールハウスを見つけました。中で作業をしていた河北純一さんと、妻の嘉津子さんに会いました。

ここは河北家の家庭菜園場です。広い棟を中心に複数の棟が設けられ、それぞれに違う野菜が栽培されており、家庭菜園派が憧れるような空間が広がります。圧巻は秋。広い棟の屋根につたう、純一さんが趣味で栽培しているというブドウがたわわに実ります。

「孫の好きな野菜や果物が多いですね」と純一さん。一方で嘉津子さんは「虫が苦手だけど、ここでの時間は楽しくて毎日、充実しています」と笑顔を見せます。

心地良い緑風が渡るこの季節は、ハウスの中にしつらえたテーブルでお茶を楽しむこともあるそうで、何ともうらやましい限りです。



ここでの時間が楽しい、と話す純一さんと嘉津子さん



新タマネギもたくさん収穫されました



純一さんと嘉津子さんのビニールハウスの中にはブドウが育っています